

# 京丹後市地域部活動検討会 通信

【No.1】 京丹後市地域部活動検討会 発行（令和7年2月）

## 令和7年度は、土曜日の部活動で「地域連携」の実証事業を

令和4年12月に国の検討会議による学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドラインが出され、「**地域の子どもたちは、学校を含めた地域で育てる。**」という意識の下、生徒の望ましい成長を保障できるよう、地域の持続可能で多様な環境を一体的に整備することが重要であると示しました。

京丹後市では、令和5年12月に、本市の中学生にとって望ましい部活動のあり方や地域移行等について検討を行うため、京丹後市地域部活動検討会（以下「検討会」という）を設置し、教育長の委嘱する委員によって、検討を重ねてきました。生徒数が減少し、これまで同様の体制で運営することが難しくなることが見込まれる中、まずは部活動についての考えや思いを子どもたちや保護者、中学校の教員に聞くべく、今年度初めに、アンケートを実施し、多くのご意見をいただきました。ご協力ありがとうございました。

令和7年度は、久美浜中学校カヌー一部で土曜日の活動において、「**地域連携**」による実証事業を行います。



### 令和7年度の取組について



#### ア 実証事業

久美浜中学校カヌー一部で土曜日午前を基本とした、地域の指導者との連携事業を試行的に進める。

#### イ 拠点校部活動の導入

生徒数減少により、やりたい部活動ができない生徒が、別の学校（拠点校）で部活動に参加できる環境を整える。

※拠点校部活動とは…生徒数の減少に伴い、現在ある部活動が休部等を余儀なくされ、今後再開が難しい部活動を再編するための救済事業です。

※ア・イ以外の部活動は、令和6年度同様に活動します。

京丹後市特有の競技であるカヌー一部は、他の部より**専門的な指導が必要であり、生徒の安全面の確保が必須**となります。地域のクラブチームの指導者と連携し、生徒への指導を行っていただきます。

また、生徒数減少に伴い、今までと同様の体制で部活動が成り立たなくなっていく予定です。これまでの合同チームの活用に加えて、全国中学校体育連盟の「拠点校部活動参加規程」を導入し、やりたいスポーツの環境づくりを行います。対象校については、毎年状況を見ながら更新します。



検討会では、国の方向性や本市の状況、アンケート実施について、実証事業に向けてなど、多岐にわたり検討しました。また、先進的に取り組んでいる他市や、京都府の推進事業への視察にも行き、「**本市の子どもたちが望ましい成長を保障できるよう、持続可能で多様な活動に親しむ環境とは**」どのようなものなのかについて検討・交流を行いました。



### 検討会

#### ア 委員

検討会の委員は、学校関係者、保護者代表、スポーツ関係団体関係者、文化関係団体関係者から組織する。

#### イ 主な検討内容等

##### (ア) 令和5年度

・第1回検討会(R5.12.26)

・高校生とのワークショップ(R6.2.8)

・第2回検討会(R6.2.19)

・先進的な他市への視察(R6.3.23)

##### (イ) 令和6年度

・第1回検討会(R6.7.4)

・第2回検討会(R6.9.17)

・第3回検討会(R6.10.22)

・第4回検討会(R6.12.26)

・京都府地域クラブ活動推進事業視察(R7.1.18)

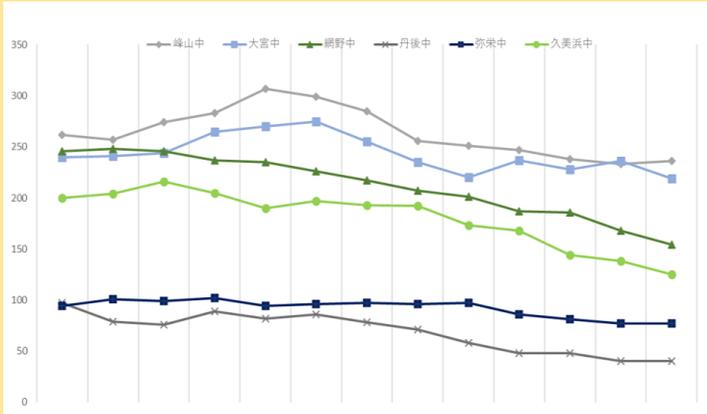
※令和7年度も実証事業等を検証しながら、検討を重ねます。

舞鶴市における  
京都府地域クラブ活動  
推進事業視察の様子  
(吹奏楽)





# 各中学校生徒数の推移



令和6年10月現在

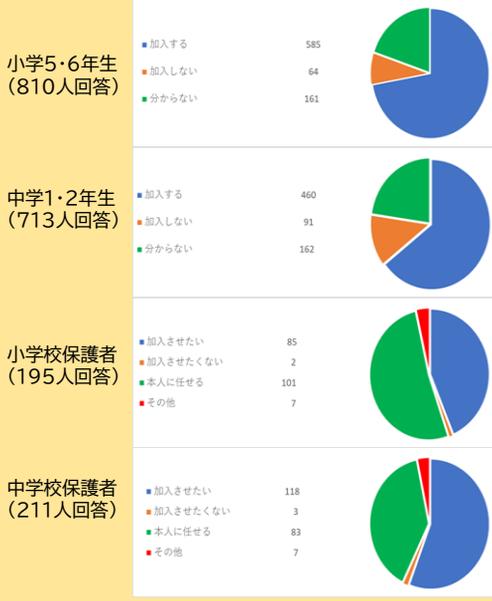
令和6年10月現在の、令和18年までの中学校別生徒数の推移です。令和15年には京丹後市全体で中学校の生徒数が1000人を下回ります。中学校別においては、丹後中学校で半数まで減少する見込みです。

生徒数の減少は、教員数の減少につながるとともに、今存続している部活動が維持できないことにつながります。



# アンケート結果 (一部抜粋)

Q.「京丹後市の中学校では、全員が部活動に参加することとしている。もし、全員加入でなくなった場合、加入するか(させるか)」



Q.「部活動に教育的意義を感じるか」  
中学校教員(112人回答)



Q.「部活動に負担を感じるか」  
中学校教員(112人回答)



Q.「京丹後市で部活動を地域に移行する場合、どのような形が良い(持続可能)と考えるか」  
中学校教員(112人回答)

- (1)段階的な移行と実証事業
- (2)合同チームや拠点校の活用
- (3)指導者の負担軽減と研修体制の整備
- (4)地域全体のサポート体制
- (5)資源の確保と効率化

全員加入に対して、概ね肯定的な回答でした。中学校教員の結果では、部活動が教育的意義を肯定的に感じている教員が多い一方、「時間的な負担」などを理由に、部活動への負担感を感じている教員が多くいることがわかりました。

また、京丹後市の部活動が、持続可能な形になるために、地域連携も含めた意見が多く聞かれました。

アンケートへのご協力、本当にありがとうございました。

※ アンケートの詳細等は、京丹後市ホームページに掲載予定です。今後も、検討会の状況をお知らせいたします。

## 【お問い合わせ】

京丹後市地域部活動検討会 事務局  
(京丹後市教育委員会 学校教育課内)  
電話 0772-69-0620